

令和元年8月29日

6年生保護者の皆様

岡崎市立羽根小学校
校長 小田 哲也

全国学力・学習状況調査結果（個人票）の配付について（通知）

初秋の候 保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、個人票を配付させていただきます。あわせて本校の状況及び今後の指導改善への取組についてお知らせいたします。得意とする事柄と不得意な事柄等を個人票の結果から読み取り、今後の学習に活かしてまいります。保護者の皆様には子供たちが学習に意欲をもって取り組めるように、励ましや環境づくりの御協力をお願いいたします。

1 本校の状況（全国の平均正答率と比較して）

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none">目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む力が大変優れている。目的に応じて、文章内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む力に優れている。話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をする力に優れている。目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力が弱い。話す・読む・聞く能力は高いが、書くことや言語についての知識・理解・技能が十分身に付いていない児童がやや多い。
算数	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none">グラフから、資料の特徴や傾向、数値を正しく読み取る力に大変優れている。目的に適したともなって変わる二つの数量を見出す力に優れている。数学的な考え方が身に付いており、数量や図形についてよく理解している。加法と乗法の混合した、整数と小数の計算を正確にする力が弱い。数量や図形の問題を解く技能は概ね身に付いているが、文章題を最後まで読み切れず、内容をよく理解しないまま解いてしまう児童が多い。
学習状況	<ul style="list-style-type: none">本調査の国語、算数ともに記述式の問題について、途中であきらめず最後まで解答を書こうと努力することができた割合は8割を超えており、向上心をもって取り組むことができる児童が多いことがわかる。「いじめはどんな理由があってもいけない」と答えた児童は全体の98%以上を占めている。相手の気持ちを考え、思いやって行動しようとする気持ちのある児童が多い。しかし、「困っている人を進んで助けている」と答えた児童は83%であり、よいと思うことを自ら実践する力、行動する力を身に付けることが課題である。「学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見を生かして解決方法を決めている」と答えた児童の割合は全国と比べて低い。学級のために主体的に考え、力を合わせて問題を解決できる場の工夫と教師の支援が必要であると考えられる。
生活状況	<ul style="list-style-type: none">家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話す児童の割合は、全国平均を上回っている。家で計画を立てて勉強している児童の割合は低い。

2 今後の指導改善への取組

- 国語科では、毎日の漢字の書き取り練習に短文づくりも取り入れ、合わせて熟語の意味を押さえるようにしていきます。総合的な学習の時間、社会科などでも資料を活用し、まとめる力を伸ばしていきます。継続的な読書活動を推進することで、児童の語彙力獲得を目指します。
- 算数科では、授業の中で言葉や図、式をノートに書くことに繰り返し取り組むようにし、導き出した考えについて根拠をもって説明する力を伸ばしていきます。
- さまざまな教育活動の中で道徳的実践力を養い、児童一人一人が豊かな心と行動力を身に付けられるよう支援します。
- 子供が主体となって活躍し、「達成感」「成就感」を味わうことのできる教育活動を推進していきます。

3 その他

- 個人票の見方については裏面を参照してください。
- 全国の詳しい状況につきましては、文部科学省ホームページ（全国学力・学習状況調査 調査結果について）に掲載されています。
- この通知文を学校ホームページに登録します。